

「NAS みる」から「アドミリンク」への移行のご案内

当社製 NAS 製品「NSB シリーズ」をご利用いただくにあたり、無償で利用できるクラウド型 NAS 管理サービス

「NAS みる」は 5 月 5 日（木）をもってサービス提供を終了させていただきました。（※）

「NAS みる」サービス終了後も 2022 年 8 月 23 日（火）までは従来の「NAS みる」エージェントソフトでも管理情報の閲覧はご利用可能ですが、新サービス「アドミリンク」での新機能を全て使用する為に、「アドミリンク」エージェントソフトウェアへの更新を早急をお願いいたします。

※2022 年 2 月 8 日 発表資料 URL : <https://www.elecom.co.jp/news/info/20220208-01/>

◆新サービス「アドミリンク」への移行期間◆

2022 年 5 月 9 日（月）～2022 年 8 月 23 日（火）

◆ご案内

「アドミリンク」への移行期間を下記の通り延長いたしました。

変更前：2022 年 5 月 9 日（月）～2022 年 8 月 9 日（火）

変更後：2022 年 5 月 9 日（月）～2022 年 8 月 23 日（火）

移行期間中は、「NAS みる」「アドミリンク」のどちらのエージェントソフトでもアドミリンクサービスへ状態通知を行います。2022 年 8 月 23 日(火)を過ぎると、お客様がお使いの NAS では状態通知が一切行われなくなり、以下の状態になりますのでご注意ください。

- ・「NAS みるエージェント」で取得したステータス情報、検知したイベントは全て破棄されます。
- ・「定期通知途絶」のメールが、24 時間毎に配信されます。（※移行していない NAS の台数分、配信されます。）

「NAS みる」から「アドミリンク」への移行手順

Windows NAS をご利用の場合	P2
Linux NAS をご利用の場合	P6
プロキシサーバー設定情報	P9
アドミリンクの登録状態が「確認中」または「未登録」の場合は	P10

【Windows NAS をご利用の場合】

対象機種

アドミリンクへ移行可能な製品は以下の通りです。

■ Windows NAS	
Windows Server IoT 2019 for Storage 搭載モデル	NSB-75S4DS9 シリーズ、NSB-75S4DW9 シリーズ NSB-7MS2DS9 シリーズ、NSB-7MS2DW9 シリーズ
Windows Storage Server 2016 搭載モデル	NSB-75S4RS6 シリーズ、NSB-75S4RW6 シリーズ NSB-75S4RW65 シリーズ、NSB-75S4DW65 シリーズ NSB-75S4DS6 シリーズ、NSB-75S4DW6 シリーズ NSB-7MS2CS6 シリーズ、NSB-7MS2CW6 シリーズ NSB-7MS2CA シリーズ、NSB-96R48T12RS6
Windows Storage Server 2012 搭載モデル	NSB-75S4RS2 シリーズ、NSB-75S4RW2 シリーズ、NSB-75S4RW25 シリーズ NSB-75S4DS2 シリーズ、NSB-75S4DW2 シリーズ、 NSB-75S4CS2 シリーズ、NSB-75S4CW2 シリーズ

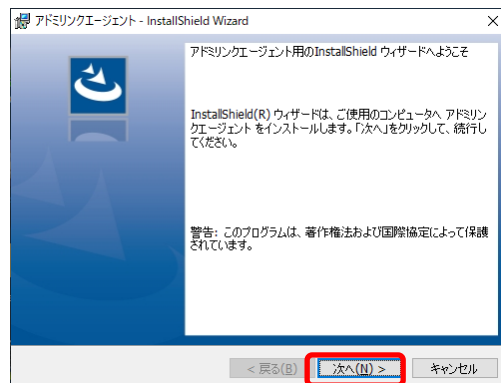
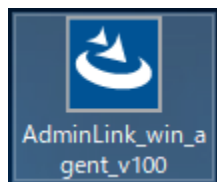
事前にご確認ください。

- エージェントは NAS 本体へインストールする必要があります。NAS へのリモートデスクトップ接続および共有フォルダーの参照が可能な、管理用 PC と管理者アカウントをご用意ください。
- 必ず「**アドミリンクエージェント**」を先にインストールしてから「NAS みるエージェント」を削除してください。**「NAS みるエージェント」を先に削除してしまうと「NAS みる」の情報が引き継がれません。**
- プロキシサーバー環境でご利用の場合は、「アドミリンクエージェント」からプロキシサーバー設定を行ってください。
- 新サービス「アドミリンク」へログインする際に「NAS みる」のアカウント ID（メールアドレス）、パスワードが必要となります。あらかじめご準備ください。

1. アドミリンクエージェントのダウンロードとインストール

- ① 下記のリンクより「アドミリンクエージェント」を管理用 PC のデスクトップ上にダウンロードします。
<https://www.elecom.co.jp/r/s362>
- ② ダウンロードした「アドミリンクエージェント」ファイルを解凍してください。
「AdminLink_win_agent_v100」フォルダーが作成されます。
- ③ フォルダー内の内容を表示し、インストールプログラム「AdminLink_win_agent_v100.exe」を NAS の共有フォルダーへコピーしてください。

- ④ NAS 本体へリモートデスクトップ接続し、先ほど共有フォルダーへコピーしたインストールプログラムを実行してください。



- ⑤ アドミリンクエージェントを起動して、アドミリンクサービス登録状態が「登録済み」となっていることを確認してください。



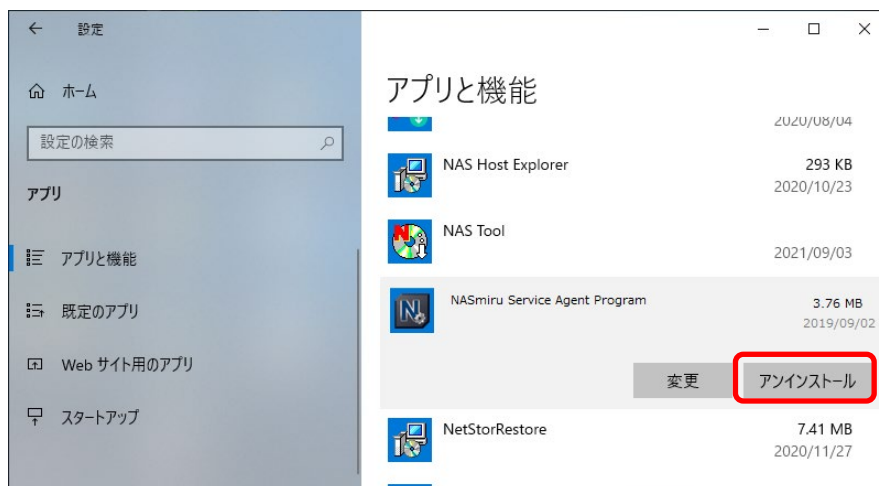
「アドミリンクサービス登録状態」が、「確認中」の場合・・・

プロキシサーバーの設定をご確認ください（P4 手順⑦）

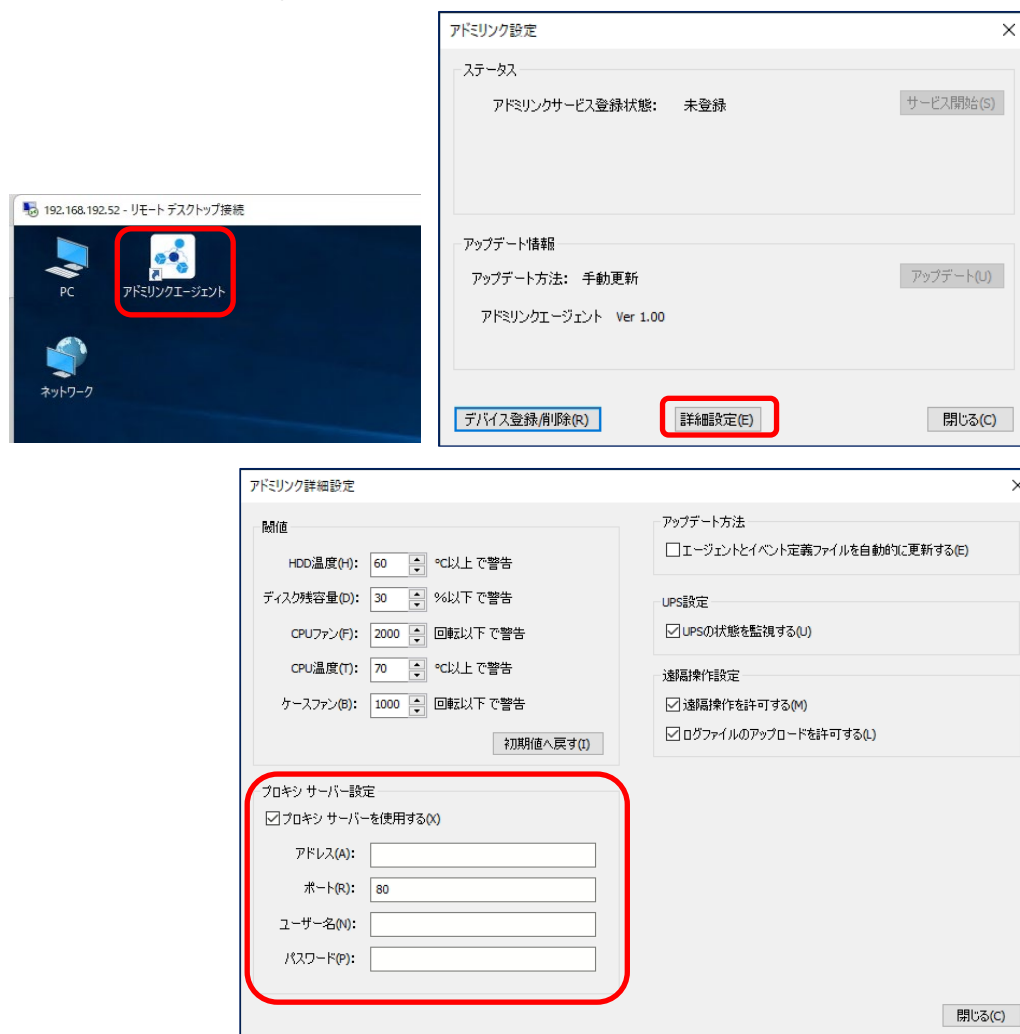
「アドミリンクサービス登録状態」が、「未登録」の場合・・・

アドミリンクサーバーの設定をご確認ください（P10「アドミリンクサービス登録状態」が「未登録」の場合）

- ⑥ NAS の「アプリと機能」から「NAS みるエージェント」削除してください。



- ⑦ プロキシサーバー環境でご利用の場合は、アドミリンエージェントの「詳細設定」をクリックします。「プロキシサーバー設定」の「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れて、利用されているプロキシサーバー情報を入力、エージェントを閉じます。



- ⑧ プロキシサーバー側の例外設定に必要な情報は P9 の「プロキシサーバー設定情報」をご確認ください。

2. アドミリンクへのログイン

下記 URL より「アドミリンク」ポータルを表示し、「NAS みる」のアカウント ID（メールアドレス）、パスワードでログインしてください。

<https://admin-link.net>



ELECOM

ヘルプ

AdminLink

メールアドレス

パスワード

ログイン

→ ユーザーIDでログイン

→ パスワードを忘れた方

新規登録

以上で Windows NAS の移行手順は終了です。

「アドミリンク」の詳細情報やマニュアルについては下記 URL からご確認いただけます。

<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

【Linux NAS をご利用の場合】

対象機種

アドミリンクへ移行可能な製品は以下の通りです。

■ Linux NAS	
NSB-7A シリーズ※	NSB-7A4RL シリーズ、NSB-7A5BLX シリーズ NSB-7A5BL シリーズ、NSB-7A4BL シリーズ
NSB-5A シリーズ※	NSB-5A4RL シリーズ、NSB-5A4BL シリーズ NSB-5A2BL シリーズ、NSB-5A1BL シリーズ

※NASの本体ファームウェア Ver.4.3.6.1256 以降が対応可能です。

ファームウェアが Ver.4.3.6.1256 未満の場合は、ファームウェアのアップデートを行ってください。

事前にご確認ください。

- 「NAS みる」サービス提供終了に伴い、「Virus Scan」アプリの使用条件とウイルス定義ファイルの更新方法を変更いたしました。「Virus Scan」アプリをご利用のお客様は同時に「Virus Scan」アプリのアップデートも行ってください。
※2022 年 4 月 5 日 発表資料 URL : <https://www.elecom.co.jp/news/info/20220405-01/>
- 必ず「アドミリンクエージェント(アプリ)」を先にインストールしてから「NAS みるエージェント(アプリ)」を削除してください。「NAS みるエージェント(アプリ)」を先に削除してしまうと「NAS みる」の情報が引き継がれません。
- プロキシサーバー環境でご利用の場合は、NAS 本体の管理画面からプロキシサーバー設定を行ってください。
- 新サービス「アドミリンク」へログインする際に「NAS みる」のアカウント ID (メールアドレス)、パスワードが必要となります。あらかじめご準備ください。

1. アドミリンクエージェント(アプリ)のインストール

- ① NAS 本体にログインし、管理画面から「APP Center」を表示します。

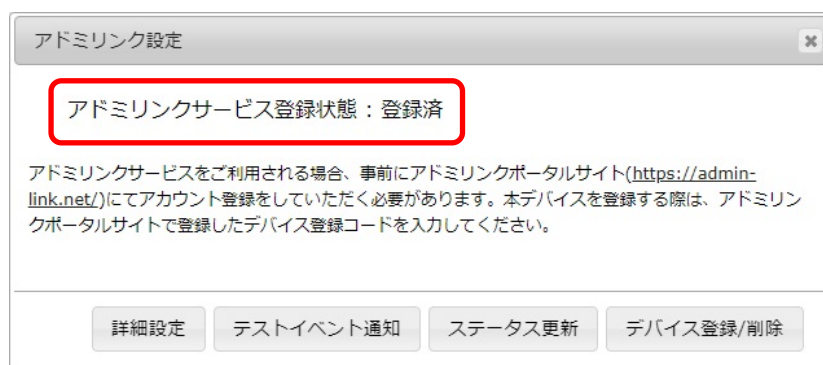
「すべてのアプリ」から「アドミリンク」を表示し「インストール」を選択します。

※NASの本体ファームウェア Ver.4.3.6.1256 以降が対応可能です。

ファームウェアが Ver.4.3.6.1256 未満の場合は、APP Center に「アドミリンク」アプリが表示されない場合があります。その場合は NAS 本体のファームウェアのアップデートを行ってください。



- ② 「アドミリンク」を起動し、アドミリンクサービス登録状態が「登録済」となっていることを確認してください。



「アドミリンクサービス登録状態」が、「確認中」の場合・・・

プロキシサーバーの設定をご確認ください（P8 手順⑤）

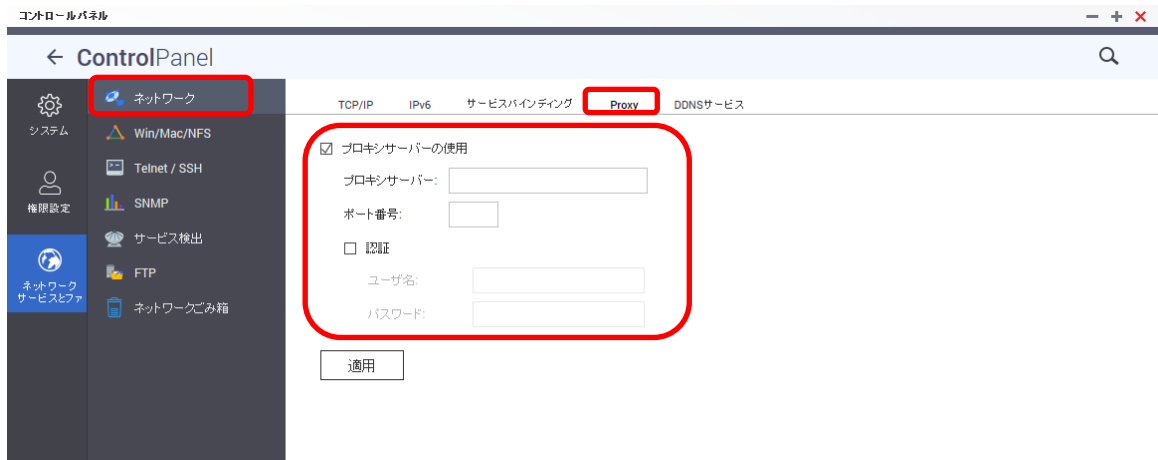
「アドミリンクサービス登録状態」が、「未登録」の場合・・・

アドミリンクサーバーの設定をご確認ください（P10「アドミリンクサービス登録状態」が「未登録」の場合）

- ③ マイアプリのNASみるの「√」を選択し削除を選択します。
- ④ Virus Scan をご利用の場合は「更新」をクリックし、Ver.1.1.0 へアップデートを行ってください。



- ⑤ NAS 管理画面の [コントロールパネル]-[ネットワーク]-[Proxy] をクリックします。「プロキシサーバーの使用」にチェックを入れ、利用されているプロキシサーバーの情報を入力し[適用] をクリックします。



- ⑥ プロキシサーバー側の例外設定に必要な情報は P9 の「プロキシサーバー設定情報」をご確認ください。

2. アドミリンクへのログイン

下記 URL より「アドミリンク」ポータルを表示し、「NAS みる」のアカウント ID（メールアドレス）、パスワードでログインしてください。

<https://admin-link.net>



以上で Linux NAS の移行手順は終了です。

「アドミリンク」の詳細情報やマニュアルについては下記 URL からご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

【プロキシサーバー設定情報】

プロキシサーバーへ例外設定が必要な場合は、以下の情報を設定してください。

■ アドミリンクサイトをブラウザで参照するための設定

・ アドミリンクサイト

admin-link.net

※プロトコルは HTTPS、ポートは 443

■ デバイスがアドミリンクサーバーと通信するための設定

・ デバイス制御・通信用サーバー

api.admin-link.net

akdrurr5yyzrp-ats.iot.ap-northeast-1.amazonaws.com

・ 認証情報取得サーバー（Windows NAS のみ）

ch77szvx8i7n5.credentials.iot.ap-northeast-1.amazonaws.com

・ ファイルダウンロード／アップロード用ストレージサーバー

admin-link.net（Windows NAS のみ）

s3-ap-northeast-1.amazonaws.com

※プロトコルは HTTPS、ポートは 443

【アドミリンクの登録状態が「確認中」または「未登録」の場合は・・・】

■「アドミリンクサービス登録状態」が「確認中」の場合

アドミリンクサーバーと正しく通信できていない事が考えられます。ネットワークの接続をご確認ください。
またプロキシサーバー環境でご利用の場合は、プロキシサーバー側の例外設定をご確認ください。
設定が必要な情報については、P9 の【プロキシサーバー設定情報】をご参照ください。

■「アドミリンクサービス登録状態」が「未登録」の場合

NAS みるエージェントが最新ではない場合、NAS の登録が引き継がれない場合があります。
この場合は下記の手順で NAS をアドミリンクサーバーに手動で登録してください。
手動で登録方法は以下となります。

< アドミリンクサーバーへ NAS を手動で登録する主な流れ >

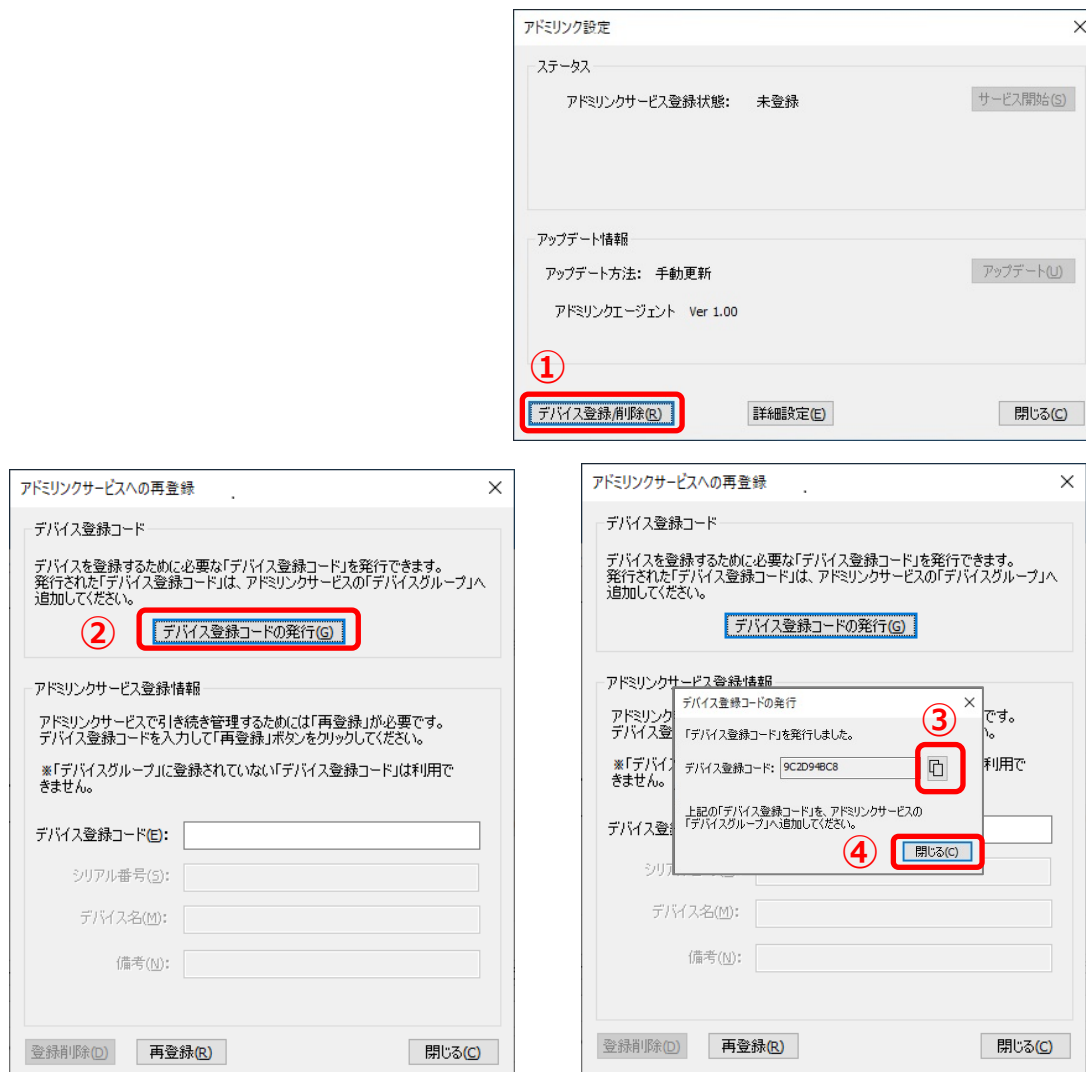
- ① デバイス(NAS)側で「デバイス登録コード」を発行
- ② アドミリンクサーバー側に「デバイスグループ」を作成
- ③ アドミリンクサーバー側に作成した「デバイスグループ」に①で発行した「デバイス登録コード」を登録
- ④ デバイス(NAS)側に③で追加した「デバイス登録コード」を登録

【Windows NAS をご利用の場合】・・・・・・P11

【Linux NAS をご利用の場合】・・・・・・P13

【Windows NAS をご利用の場合】

[1] 下記の順番でデバイス(NAS)側で「デバイス登録コード」を発行し、コピーします。



[2] アドミリンクサーバー側の操作に移り、「デバイスグループ」を作成し、コピーした「デバイス登録コード」をアドミリンクに追加します。

詳しい手順は、下記の URL より「ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

<https://www.elecom.co.jp/solution/service/adminlink/>

● 参照ページ

「デバイスグループの作成」・・・ユーザーズマニュアル P38「デバイスグループを登録する」

「デバイス登録コードの追加」・・・ユーザーズマニュアル P42「デバイスを登録する」

[3] デバイス(NAS)側の操作に戻り、[3]で追加した「デバイス登録コード」をアドミリンクエージェントに登録します。

The image contains two screenshots of the AdmLink software interface.

The left screenshot is titled "アドミリンクサービスへの再登録" (Re-registration to AdmLink Service). It contains a section for "デバイス登録コード" (Device Registration Code) with a text box for the code and a "再登録(R)" (Re-register) button highlighted with a red box. Below this is a section for "アドミリンクサービス登録情報" (AdmLink Service Registration Information) with fields for "シリアル番号(S)" (Serial Number), "デバイス名(N)" (Device Name), and "備考(B)" (Remarks). At the bottom, there are buttons for "登録削除(D)" (Delete Registration), "再登録(R)" (Re-register), and "閉じる(C)" (Close).

The right screenshot is titled "アドミリンク設定" (AdmLink Settings). It shows the "ステータス" (Status) section with "アドミリンクサービス登録状態: 登録済み" (AdmLink Service Registration Status: Registered) highlighted with a red box. Below this is the "アップデート情報" (Update Information) section showing "アップデート方法: 手動更新" (Update Method: Manual Update) and "アドミリンクエージェント Ver 1.00" (AdmLink Agent Ver 1.00). At the bottom, there are buttons for "デバイス登録/削除(R)" (Device Registration/Delete), "詳細設定(E)" (Detailed Settings), and "閉じる(C)" (Close).

再登録が完了すると「アドミリンクサービス登録状態」が「登録済み」になります。
以上で設定は完了です。

【Linux NAS をご利用の場合】

[1] 下記の順番でデバイス(NAS)側で「デバイス登録コード」を発行し、コピーします。

The first screenshot shows the 'AdminLink Settings' window. It indicates the registration status is 'Not Registered'. A red circle with the number '1' highlights the 'Device Registration/Deletion' button.

The second screenshot shows the 'Device Registration/Deletion' window. It explains that a device registration code is needed for registration. A red circle with the number '3' highlights the 'Generate Device Registration Code' button.

The third screenshot shows the 'Generate Device Registration Code' dialog box. It displays the generated code '148B94D6D'. A red circle with the number '2' highlights the 'Copy' button. A red circle with the number '4' highlights the 'Close' button.

[2] アドミリンクサーバー側の操作に移り、「デバイスグループ」を作成し、コピーした「デバイス登録コード」をアドミリンクに追加します。

詳しい手順は、下記の URL より「ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

<https://www.elecom.co.jp/solution/service/adminlink/>

● 参照ページ

「デバイスグループの作成」・ユーザーズマニュアル P38「デバイスグループを登録する」

「デバイス登録コードの追加」・ユーザーズマニュアル P42「デバイスを登録する」

[3] デバイス(NAS)側の操作に戻り、[3]で追加した「デバイス登録コード」をアドミリンクエージェントに登録します。

アドミリンクサービスへの登録/削除

デバイス登録コード

*は必須項目です。

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行できます。発行された「デバイス登録コード」は、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コードの発行

アドミリンクサービス登録情報

アドミリンクサービスに、本デバイスの登録情報が見つかりました。
「デバイス登録コード」を入力して、再登録してください。
※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

デバイス登録コード*

シリアル番号*

デバイス名*

備考

登録削除

再登録

アドミリンク設定

アドミリンクサービス登録状態：登録済

アドミリンクサービスをご利用される場合、事前にアドミリンクポータルサイト(<https://admin-link.net/>)にてアカウント登録をしていただく必要があります。本デバイスを登録する際は、アドミリンクポータルサイトで登録したデバイス登録コードを入力してください。

詳細設定

テストイベント通知

ステータス更新

デバイス登録/削除

再登録が完了すると「アドミリンクサービス登録状態」が「登録済」になります。
以上で設定は完了です。

14

2022/7/28_V05